

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 ウイン・パートナーズ株式会社

コード番号 3183 URL <http://www.win-partners.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋沢 英海

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部長

(氏名) 村田 裕可

TEL 03-6895-1234

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	22,230	—	1,051	—	1,059	—	1,021	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,036百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	71.14	—
25年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	22,384	10,425	46.6	726.27
25年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 10,425百万円 25年3月期 一百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,580	—	2,280	—	2,288	—	1,597	—	111.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	15,251,655 株	25年3月期	— 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	897,433 株	25年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	14,354,222 株	25年3月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表した「平成26年3月期の連結業績予想及び配当予想並びに経営方針」に記載した数値から変更しておりません。
2. 当該業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
3. 当連結会計年度が第1期となるため、前期、前年第2四半期の実績及び発行済株式はありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は平成25年4月1日に、株式会社ウイン・インターナショナルとテスコ株式会社が共同株式移転の方法により経営統合し、両社の完全親会社となる共同持株会社として設立されました。当連結会計年度が第1期となるため、前期実績及び前年第2四半期実績はありません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和に伴う円高の是正や政府の経済政策から企業業績が緩やかに回復し始めており、消費動向にも回復の兆しが見られます。

医療業界におきましては、再生医療の進展等、一部に明るい兆しはあるものの、医療費の適正化を目的とする近年の制度改革の影響により引き続き厳しい経営環境が続いております。医療機関におきましては、最適な医療の提供と堅実な医業経営を両立するための経営改善の必要性から、コスト意識が高まり、納入業者に対する値下げ圧力が高まる傾向にあります。当社グループ（当社及び当社の連結子会社）は、このような環境を的確に把握し、病院経営の視点に立った医療の質や収益性を高める提案及びサービスの提供を積極的に行いました。また、傘下の事業子会社の連携を強化し、低侵襲治療と心臓治療というコアビジネスの更なる拡大と、ウイン・パートナーズグループとしてのブランド確立に努めました。

この結果、売上高は22,230,721千円、経常利益は1,059,526千円となりました。

また、経営統合に伴う負ののれん発生益196,950千円及び段階取得に係る差益180,174千円を特別利益として計上したため、四半期純利益は1,021,157千円となりました。

分類別の業績は以下のとおりであります。

#### ・虚血性心疾患関連

患者数の増加策の提案等により、低侵襲治療で用いられる薬剤溶出型ステント（DES）、PTCAバルーンカテーテル等の販売数量が好調に推移いたしました。

この結果、虚血性心疾患関連の売上高は、9,148,295千円となりました。

#### ・心臓律動管理関連

新規顧客の開拓やMRI対応型のペースメーカーの拡販に注力したほか、両室ペーシング機能付き植込型除細動器（CRTD）や、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル等のEPアブレーション関連商品においても症例数が増加し販売数量が好調に推移いたしました。

この結果、心臓律動管理関連の売上高は、3,968,227千円となりました。

#### ・心臓血管外科関連

ステントグラフト内挿術の普及、症例数の増加を見込み、認定施設に対する新規顧客開拓活動を積極的に行ったこと等により、関連商品の販売数量は好調に推移いたしました。

この結果、心臓血管外科関連の売上高は、2,255,298千円となりました。

#### ・末梢血管疾患関連及び脳外科関連

新商品の導入等により症例数が増加し、売上高は総じて好調に推移いたしました。特に末梢血管疾患関連では、新商品の保険適用等により、市場が拡大しております。

この結果、末梢血管疾患関連及び脳外科関連の売上高は1,954,234千円となりました。

#### ・大型医療機器関連

医療施設の新築・増改築等の設備投資に関する情報や大型医療機器の需要に関する情報の収集、一級建築士事務所登録による構想・設計段階からのアプローチ等により受注件数が増加いたしました。

この結果、大型医療機器関連の売上高は1,257,045千円となりました。

#### ・その他

心臓以外の診療科への営業活動を強化し、院内シェアの拡大を図りました。また、合併症への対応を見据えて参入した糖尿病関連商品では、インスリンポンプのレンタルの普及が進みました。

この結果、その他の売上高は3,647,620千円となりました。

(注) 主な分類別の取扱商品は以下のとおりであります。

分類	取扱商品
虚血性心疾患関連	当社グループの主要商品群であり、心筋梗塞や狭心症といった虚血性心疾患の治療に使用される医療機器であります。これらのカテーテルを使用した治療は、患者の身体に対する負担が少ないことから、「低侵襲治療」と呼ばれております。 ＜薬剤溶出型ステント（DES）、PTCAバルーンカテーテル、血管内超音波（IVUS）診断カテーテル＞
心臓律動管理関連	不整脈の治療に使用される医療機器であります。 ＜ペースメーカ、植込型除細動器（ICD）、両室ペーシング機能付き植込型除細動器（CRTD）、電気生理検査用カテーテル、心筋焼灼術用カテーテル＞
心臓血管外科関連	心臓疾患を治療するための外科手術の際に使用される医療機器であります。 ＜ステントグラフト、生体弁、人工心肺装置、人工血管＞
末梢血管疾患関連及び脳外科関連	末梢血管や脳血管の疾患を治療するために使用される医療機器であります。 ＜PTAバルーンカテーテル、末梢血管用ステント、塞栓用コイル＞

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

流動資産は19,661,083千円となりました。主な内訳は、現金及び預金が6,928,872千円、受取手形及び売掛金が10,942,176千円であります。

固定資産は2,723,789千円となりました。主な内訳は、有形固定資産が1,774,309千円、投資その他の資産が666,538千円であります。

#### (負債)

流動負債は11,605,981千円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金が10,742,551千円、未払法人税等が422,126千円であります。

固定負債は353,857千円となりました。主な内訳は、退職給付引当金が351,807千円であります。

#### (純資産)

純資産は、10,425,032千円となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、6,928,872千円となりました。主な要因は以下のとおりであります。

なお、株式移転による現金及び現金同等物の増加額として2,269,387千円を計上しております。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、純粋な営業活動によって得られた収入が1,333,938千円ある一方、法人税等を599,497千円支払ったこと等により、738,899千円の収入となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が295,293千円あったこと等により335,684千円の支出となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、連結子会社において前期の配当金を支払ったことにより355,690千円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におきましては、新規顧客の開拓と取扱商品の領域を拡大することをはじめとした既存顧客の深耕に傾注する一方、仕入先との仕切価格交渉や、目標販売数量等を設定した上でのリポートプログラムを実施することにより、概ね計画どおりに推移いたしました。

従いまして、通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日の「平成26年3月期の連結業績予想及び配当予想並びに経営方針」に記載した予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成25年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	6,928,872
受取手形及び売掛金	10,942,176
商品	1,402,576
その他	387,997
貸倒引当金	△540
流動資産合計	19,661,083
固定資産	
有形固定資産	1,774,309
無形固定資産	282,941
投資その他の資産	666,538
固定資産合計	2,723,789
資産合計	22,384,872
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	10,742,551
未払法人税等	422,126
賞与引当金	191,324
その他	249,979
流動負債合計	11,605,981
固定負債	
退職給付引当金	351,807
その他	2,050
固定負債合計	353,857
負債合計	11,959,839
純資産の部	
株主資本	
資本金	550,000
資本剰余金	2,272,369
利益剰余金	8,048,518
自己株式	△537,809
株主資本合計	10,333,079
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	91,953
その他の包括利益累計額合計	91,953
純資産合計	10,425,032
負債純資産合計	22,384,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	22,230,721
売上原価	19,226,835
売上総利益	3,003,886
販売費及び一般管理費	1,952,413
営業利益	1,051,473
営業外収益	
受取利息	297
受取配当金	4,217
不動産賃貸料	1,825
その他	2,073
営業外収益合計	8,414
営業外費用	
支払利息	56
その他	304
営業外費用合計	361
経常利益	1,059,526
特別利益	
負ののれん発生益	196,950
段階取得に係る差益	180,174
特別利益合計	377,125
特別損失	
投資有価証券評価損	537
その他	232
特別損失合計	769
税金等調整前四半期純利益	1,435,881
法人税等	414,724
少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,157
四半期純利益	1,021,157



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 平成25年4月1日  
至 平成25年9月30日)

少数株主損益調整前四半期純利益	1,021,157
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	15,660
その他の包括利益合計	15,660
四半期包括利益	1,036,817
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,036,817

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成25年4月1日  
至平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,435,881
減価償却費	108,381
負ののれん発生益	△196,950
段階取得に係る差損益(△は益)	△180,174
売上債権の増減額(△は増加)	1,154,362
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,946
仕入債務の増減額(△は減少)	△898,263
その他	30,647
小計	1,333,938
法人税等の支払額	△599,497
その他	4,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,899
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△295,293
その他	△40,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△335,684
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△355,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355,690
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47,524
現金及び現金同等物の期首残高	4,611,959
株式移転による現金及び現金同等物の増加額	2,269,387
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,928,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年4月1日に株式会社ウイン・インターナショナルとテスコ株式会社が経営統合し、両社の完全親会社となる共同持株会社として設立されました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金は550,000千円、資本剰余金は2,272,369千円、利益剰余金は8,048,518千円、自己株式は537,809千円となっております。